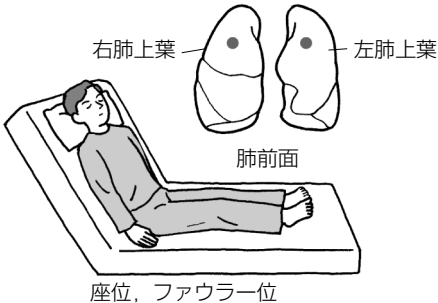
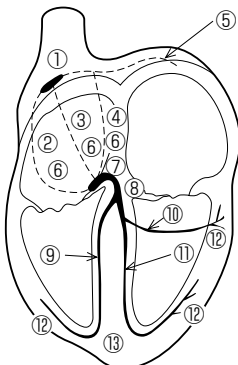


訂正箇所		誤	正
p.48	15 行目	(細胞異性)	(細胞特異性)
p.51	8 行目	・・・あるいは仕事をすることをいう.	・・・あるいは仕事量をいう.
	9～10 行目	(J (ジュール) が用いられることもある 1 cal = 4.18 J).	J (ジュール) が用いられることもある (1 cal = 4.18 J).
	29 行目	・・・測定するのに, 対して間接熱量測定法・・・	・・・測定するのに対して, 間接熱量測定法・・・
p.61	章扉	「この章を学ぶ意義」の 5～6 行目を 右記のように訂正	3. 本章では, 循環器系, 呼吸器系, 神経系, 消化器系, 泌尿器系, 生殖器系, 骨格系, 筋 系, 感覚器系について学ぶ.
p.78	10 行目	<u>バビンスキー反射は錐体路系に関連した反射で ある</u>	(5 行目の末尾に移動) ・・・である (図 4.16). <u>バビンスキー反射は錐 体路系に関連した反射である.</u>
p.142	3 行目	2005 年の老年人口は 21.0%	2005 年の老年人口は 20.1%
	図 6.3	老年人口 21.0%	老年人口 20.1%
	図 6.4	図の一部に不備がありましたので下図のように訂正いたします. ■ 老年人口 (%) 0.0 5.0 10.0 15.0 20.0 25.0 日 本 (05.10) 20.1 イタリア (03.12) 19.2 ドイツ (03.12) 18.0	
p.146	図 6.5	●直接法による年齢調整死亡率算出の場合	
	1step)	(←粗死亡率 (人口 10 万人当たり) 2 000)	(←粗死亡率 (人口 10 万対) 2 000)
	2step)	基準集団 (演習用の仮の人口構成とする) の人口 を用意する	基準集団の人口を用意する
	3step)	(人口 10 万人当たり) を求める	(人口 10 万対) を求める
		●間接法による年齢調整死亡率算出の場合	●間接法による年齢調整死亡率算出の場合
	1step)	(←粗死亡率 (人口 10 万人当たり) 2 000)	(←粗死亡率 (人口 10 万対) 2 000)
	2step)	(←粗死亡率 (人口 10 万人当たり) 2 100)	(←粗死亡率 (人口 10 万対) 2 100)
	3step)	(人口 10 万人当たり) を求める	(人口 10 万対) を求める
p.149	15 行目	1952 年以降, すべての年齢階級で・・・	1952 年以降, 85 歳以上を除くすべての年齢階 級で・・・
	19 行目	・・・把握できないときに使用できる.	・・・把握できないときに使用する.
p.154	22 行目	全身性エリテマトーデスなど 45 疾患)	全身性エリテマトーデスなど 45 疾患, 平成 19 年 4 月現在)

訂正箇所		誤	正
p.187	図 6.6	図右上「2004 年」欄	
		<全死因に対する割合>	<%は全死因に対する割合>
p.174	コラム 最終行	これらの条件を備え（表 8.2）,	これらの条件を備え,
p.204	表 10.4	右記の脚注を追記	※ NANDA（North American Nursing Diagnosis Association） （巻末参考文献 10 章（1）を参考に作表）
p.227	7～8 行目	毛細血管の透過性，毛細血管内圧，組織圧，膠質浸透圧のいずれかの・・・	毛細血管内圧，組織圧，膠質浸透圧，毛細血管の透過性のいずれかの・・・
p.228	1 行目	2 毛細血管透過性の亢進	〔5〕 毛細血管透過性の亢進
	1～6 行目	p.228 の 1～6 行目を p.229 の 8 行目へ移動	
p.229	8 行目	3 全身性因子	2 全身性因子
p.240	4 行目	3 身体症状	2 身体症状
p.252	図 12.4 左上図	図の一部に不備がありましたので下図のように訂正いたします。  右肺上葉 左肺上葉 肺前面 座位，ファウラー位	
p.263	図 12.11	図の一部に不備がありましたので下図のように訂正いたします。  <pre> graph TD 1[洞結節①] --> 2[前②] 1 --> 3[中③] 1 --> 4[後④] 3 --> 5[バツハマン束⑤] 2 --> 6[結節間路⑥] 4 --> 6 6 --> 7[房室結節⑦] 7 --> 8[ヒス束⑧] 8 --> 9[右脚⑨] 8 --> 10[左脚⑩] 9 --> 10a[前枝⑩] 9 --> 10b[後枝⑩] 10 --> 11[前枝⑩] 10 --> 11[後枝⑩] 10a --> 12[プルキンエ線維⑫] 10b --> 12 11 --> 12 12 --> 13[心室房⑬] </pre>	

訂正箇所		誤	正
p.269	表 12.12	「グレード3 高血圧（重症）」の「拡張期血圧」欄	
		< 110	< 90
p.283	10 行目	気質的疾患として・・・	器質的疾患として・・・
	33 行目	大腸癌，細胞侵入性大腸菌，出血性大腸菌，潰瘍性大腸炎，・・・	大腸癌，細胞侵入性大腸菌感染症，出血性大腸菌感染症，潰瘍性大腸炎，・・・
p.285	図 13.6	図の一部に不備がありましたので下図のように訂正いたします。 排便反射 直腸に便が到着→壁在神経により運動亢進→骨盤神経→仙骨神経→骨盤神経（さらに運動亢進）→仙髄→大脳で便意自覚→延髄の排便中枢→脊髄で内肛門括約筋・外肛門括約筋の弛緩→排便 P：横隔神経，I：腹筋の運動神経，Is：内肛門括約筋，Es：外肛門括約筋，LA：肛門拳筋，L：アウエルバツハ神経叢，Pe：骨盤神経，Pu：陰部神経，G：骨盤神経叢，C：頸神経，Th：胸神経，S：仙骨神経	
p.316	9 行目	加盟国は 2005 年 5 月現在，WHO の加盟国は 192 か国・地域，	加盟国は 2005 年 5 月現在，192 か国・地域，
p.317	29 ～ 30 行目	赤十字国際委員会・国際赤十字・赤新月社連盟，各国赤十字社の三つを総称・・・	赤十字国際委員会，国際赤十字・赤新月社連盟，各国赤十字社の三つを総称・・・